



## ひょうが 氷河はどのようにしてできるの

### まんねんゆき かた 万年雪が固まってできる

1年の平均気温が0よりも低い、高い山や、北極や南極に近い地方では、1年中、雪が積もっている所があります。このような雪は、万年雪といわれ、1年中、とけません。雪がとけないうちに、また雪が積もると、長い年月の間に、雪の重さで雪が固められていき、下の方の雪は氷になります。

この氷が山の間にとまると、その氷の重さのために、大きな氷のかたまりが、低い方へ移動していきます。これを、氷河といいます。

### ひょうが やま 氷河は山をけずる

氷河は氷の大きなかたまりで、重いので、氷河が移動するときには、山をけずって、谷をつくったりします。

氷河のけずるたらきによって、谷底がU字形をした、U字谷をつくることができます。また、山頂近くのくぼみに、万年雪がたまっている山で、小さい氷河が、できるときがあります。

この氷河の、山をけずるはたらきによって、スプーンのような形の、谷をつくります。これをカール(圏谷)といいます。日本では、カールが北海道の日高山脈や、日本アルプスなどで見られます。(監修・国司 真)

